

山口支部支部長歴4年を振り返り、金子がこれまでの総会の折、一生懸命考えた「あいさつ文」をご紹介します。ご笑納くださいませ。

2022.06.24: 10年間、支部長を務められた文岡支部長の後任として2021年より「こんな私でも良ければ…」と、今後の山口支部の活動に思いを馳せながら、大役をお引き受け致しました。本日までコロナ感染症の渦中を言い訳に、皆様へのご挨拶もままならず申し訳ありませんでした。カネコは建築士会会員歴32年。その間の多くの出来事や、沢山の出会いのご縁で今を紡いでおります。令和4年度もまだまだ新型コロナウイルスと付き合いながらの1年になると思いますが、柔軟に対策を講じながら、活動の輪を広げていきたいです。さて、建築士の役割も多様に変化してきています。世の中の変化に対応しつつ、前に進んでいきたいなあと考えています。今年度は、できるだけ、若い方々の考えを聞き、やりたいことを実現できる環境をつくっていききたいと思っています。そのために、諸先輩方のお知恵をぜひ貸してください。建築士会は、建築士法の規定によって、都道府県ごとに設置された公益法人です。建築士会の目的は、建築士法によって次のとおり明示されています。1.建築士の品位の保持と業務の進歩改善 2.そのための会員の指導と連絡と、書かれています。会員減少の声を聴きますが、**建築士会会員であることが建築士としてのステイタス**であり、信頼の証である!ということを念頭に置き、会員お一人が身近な建築士を一人勧誘すれば、会員は倍増しますよね!建築士は、設計、施工、行政など働く場所と内容は異なりますが、携わっている範囲は幅広く、言わば建築を通じた地域づくりであり、建築士として目指す方向は同じものと考えています。また、建築士会は同じ資格をもつ者で結ばれた公益的な団体であり、損得を超えた横の連携を図ることができる組織です。建築士会の活動を通じて横の連携を一層強化し、常に新たな情報を得ることで、急速に変化する社会経済情勢や複雑化した業務等に対応できるのではないのでしょうか。建築士会の中でも支部は、地域で活躍されている建築士にとって一番身近な存在だと思います。今後とも、楽しく技術的な研鑽を積み上げるとともに、なお一層会員相互の親睦を深められる山口支部にしたいと考えています。世間は混沌としています、笑顔で日々を過ごしてまいりましょう。



2023.06.23: 3年前よりこつそりと支部長という大役をお引き受けいたしました…さて、先日10年ぶりに「青年女性建築士の集い 中四国ブロック徳島大会」に参加してきました(女性は年齢制限がないので!)。その大会趣旨に大変感銘を受けた一文がございましたのでこの場をお借りしてご紹介いたします。日々忙しくしている建築士が一旦立ち止まり、改めて建築士会活動を見つめ直し、これからの建築分野がどうなっていくのか、また、自分達の地域が日本の中、世界の中でどういった立ち位置になっていくのかを考えていく…テーマは「未来創造会議」、いま改めて自分自身の取り巻く社会情勢を知り、明るい未来に向かって積極的に活動していく為の契機となるような刺激的な大会でもありました。この大会で山口支部青年部は山口県代表として建築探訪Mapを活用した地域実践活動報告をしました。お疲れ様でした!みずからを振り返ればこれまでの建築士会での活動や多様な建築士との出会いは本当に刺激的であり、今の自分にしっかりと活かされているように感じます。**建築士会会員であることが建築士としてのステイタス**であり信頼の証であるということを念頭に置き、会員の皆様からたくさんのお知恵を頂きながら参加して良かった!お会いできてよかった!と思えるような支部活動を展開して行きたいと考えています。



2024.06.28: 先日、周南市で開催された定時総会にてカネコが大好きな建築家 内藤 廣氏の講演会「建築とまちづくり」が開催されました。とかく建築家の講演会というと自身の作品を主に紹介されますが、内藤氏は違います。終始おだやかにリラックスして建築士としてのプライドを参加者に優しくグイグイ語りかけてこられるのです。ここで金子に刺さった内藤氏の言葉をご紹介します。『戦後八十年我々建築士は、先人達に対して恥ずかしくないまちづくりができているか?次世代に胸を張って渡せる建築が出来ているか?その事を常に意識感じてほしい。建築は長いスパンに向き合っている。人間の命の長さを超えてつくる建築が大切。たとえば、プロジェクトに関わる人々と協力し、建築と都市と土木を合わせて考える。建築家の仕事は「交差点」という役目を担うクリエイターだ』君たちはどう生きるか?と問われているようでした。建築士の職域は広く関わる関係者も様々です。常に学び続け新しいことに挑戦し、人々と協力することが大切です。建築士会にはそのネットワークがあります。そして関わりたい活動に自由に参加できます。これからは**建築士会会員であることが建築士としてのステイタス**であり信頼の証であるということを念頭に置き、社会貢献活動、建築技術勉強会、まちづくり・景観学習、地域・建築探訪、交流会、親睦会などの企画を山口支部から発信して行きたいと考えています。



さて、2025年度。財政困難にもめげず、更に活動の輪を広げてゆきたい。**建築士会会員であることが建築士としてのステイタス**だ!!!